

ほのぼの苑だより

題字：森 リツ 様



10月15日 レインボー明德からヤートセを披露していただきました。みんなで手拍子や手踊りをしたり、一緒に踊ったりと盛り上がりました。

デイケア誕生会

十月十八日、デイルームにて十月の誕生会を行いました。二人羽織りでは後ろからは手の届かない人もいるので、少しアレンジをして、二人で向かい合って座り、目隠しをして正面の人にお菓子などを食べさせるゲームを行いました。

昔懐かしの黒砂糖のふ菓子や手作りのケーキを手に、はじめは皆さんおぼつかない手つきでしたが、ゲームが進むうちに周りから笑いも飛び交うなど、和やかなゲーム展開となりました。

ゲームの後は、通苑者の方と職員とで歌の合唱を行いました。ゲーム同様、マイクを向けられると照れたり、恥ずかしがる姿が見られましたが、一曲目、二曲目と続くうちに皆さん大きな声で合唱されていました。誕生会が終わり、送迎の際「今日は笑った、笑った。あんなゲームは普段は出来ないから、こういう時に色々やって欲しい。」「ケーキ美味しかったなあ。自分の誕生日でないけどもお腹いっぱいケーキ食べた。またやってね。」という喜ばしい声を聞くことが出来ました。今後も普段のレクリエーションではなかなか出来ないゲームやイベントを通苑者の方々と一緒に楽しんでいきたいと思えます。

(本川 佳奈子 記)



医療法人正和会 学術交流会

医療法人正和会グループの第四回学術交流会が、十月二十六日に秋田ビューホテルにて行われました。当苑からは、管理栄養士 宮田奈々と保守係 加藤満朗の二名が発表を行いました。

管理栄養士 宮田奈々が自慢コンテストにおいて発表した『「のどごしスムーズきざMIX」〜みんなの思いが形になった〜』は当苑での食形態工夫の取り組みを紹介するもので、コンテストの一位を受賞しました。

『「ゴミ減量化への挑戦」〜減量作戦を展開して〜』正和会のゴミ問題を題材としたもので保守係 加藤満朗が発表しました。ゴミ問題という身近な物が題材になっていることで会場の職員ほぼ全員が共感できる内容だったと思います。審査員による審査の結果、十二題中、第一位を受賞し、正和会グループ全職員が投票を行い決定する職員大賞という賞も受賞することが出来ました。

当苑ではこの学術交流会が始まって以来、第一位を受賞し続けていますが、来年も受賞できるように日々の業務の中から様々な気付きを形することが出来るように努力していきたいと思えます。

(加藤 稔樹 記)



ほのぼの苑 ちよつとイイ話

「ほのぼの苑 ちよつとイイ話」
は、苑内での感動する話をご紹介
するコーナーです。

ちよつとイイ話

く十月のデイケア不定期日記よりく

秋田県民歌ってどんな歌？

ある女性通苑者が入浴されている時、とても機嫌が良かったので、「おばあさん。秋田県民歌って知ってますか。知っていたら歌ってみてください。」と頼んだら、「ああ、知ってるよ。」そして、「むくすくんでくひくらくらくいてくでくをくうってくむくすんでくくく」あんまり自信ありげに歌うので、浴場にいるみんなが思わず聞き惚れてしまいました。やはりおかしい。一瞬の間をおき、大爆笑。あまりの自信に、これでも良いかと思ひ、もう一度、県民歌を熱唱して頂きました。



人生いろいろ

通苑者のあるおばあちゃん。普段は、とても物静かで、挨拶をしたり、話しかけるとやつと静かに話し始めます。本日は、昔の生活について話してくれて、魚を担いで売っていた話しや、その頃がとても大変で辛く、毎日が生きることでも精一杯だったことなども話してくれました。そのおばあさんが、「でも、今がとても幸せだあ」、「車で迎えに来てくれるし、お風呂に入れるし」、「おめえ方話し掛けてくれるし、苦あれば楽ありだなあ〜」と、とても笑顔で話してくれました。それを聞いて、私はずっとも幸せな気分になりました。



謎、消えたキャラメルコーン

ある通苑者の方をお迎えに行ったとき、玄関から出てきたそのおばあさんは、口をもぐもぐさせ、手にキャラメルコーンを五、六個持っていました。「おばあちゃんっから、また歩きながらお菓子食べて」と、お嫁さんに言われると、「私じゃないの。こ

の鳥っこに食べさせるの」とそのおばあさんは言いました。私は、ゆっくりそのおばあさんが指す方向を見ると確かに鳥が。ただし、杖の先に付いた鳥の木彫りでした。その後、私と通苑者の皆さんは車中で会話を楽しみ、ほのぼの苑へ到着。キャラメルコーンは、綺麗に鳥に食べられていました。



嬉しい言葉

私が出張と休日のため、久しぶりに通苑者の皆さんと顔を合わせたときのことです。あるおばあさんは、「このところずっと見なかつたね。辞めたのかと思つてちよつと心配したよ。」と、心配そうに声をかけてくださいました。また、あるおばあさんは、「出張お疲れさま。あなたがいないと、とっても寂しかったよ。」と嬉しい言葉をかけて頂きました。ちよつとお会いしなかつただけで、皆さんにとっても気にかけてもらっていることに驚きを感じ、また、優しい顔で言葉をかけてもらったことが、とても嬉しくこの仕事をやって良かったと心から思いました。

誕生会 イモのスタンプ

十月の誕生会に向けて職員で話し合い、秋らしい催し物をということで、実りの秋に収穫されるサツマイモを使って、イモのスタンプを作成し、それを入苑者の方に記念にして頂こうと企画しました。

彫刻刀を使い、入苑者の方の名前を彫っていき、完成したスタンプに絵の具を塗り、入苑者の方々に押し付けていただきました。その様子を写真に収めて、イモのスタンプと一緒に壁掛け式のアルバムを製作し、入苑者の方にプレゼントさせて頂きました。誕生会の企画を通して入苑者の方々と充実した時間を過ごし、たくさん笑顔を見ることが出来たように思います。



第十八回 家族会 議事録

第十八回 家族会は、平成十九年十月二十八日(日)午後二時より、食堂にて行われました。ほのぼの苑たよりの誌面にて、グループ討議、質疑応答に関する資料を掲載致しますので、ご参加頂けなかったご家族の皆さんもご覧ください。

十一月の家族会は、十一月二十五日 午後二時から食堂にて、『ほのぼの苑の食事について』をテーマとしてご説明致します。普段入苑者の方々が摂られている食事について、当苑の工夫などを紹介したいと思えます。十二月の家族会は十二月二十三日 午後二時を予定しております。お忙しい中とは存じますが、是非ご参加頂けるよう、ご協力よろしくお願い申し上げます。

◆質疑応答◆

Q ひどく汚れた洗濯物が洗濯カゴの中にはなく、タンスの上へ上げられていたが、どうなっているのでしょうか。

A 早急に職員に申し送り、今後そのようなことが起こらないように徹底致します。

Q 洗濯物で経過によって傷んだり、縮んだ場合や足りない場合は家族に教えていただきたいのですが。

A 今後は電話や面会にいらして頂いた際にお伝えするように致します。

Q 衣類が足りないという連絡を頂いて、面会前に衣類を購入し、名前を記入しないで持ってきた場合に名前書きのためのマジック等は貸して頂けますか。

A 全職員が常に名前書き用マジックを持ち歩いていますので、お気軽にお声かけください。

Q ステーション内に誰かいるようにして頂きたい。ステーション内には、薬品や注射等の危険物となるものが多くありますので、中に入って誤飲したり、鋭利物の使用によって怪我をする可能性もあると思われま。

A 現在、長時間不在になる場合には入口に施錠をして対応しておりますが、ステーション3のように扉のないところもありますので、今後はステーション内が不在にならないように気を付けます。



幸福

「あー、今日も一日が終わってしまっただ」

この言葉が毎日出てしまう。

大きな門に広い庭、子供たちの賑やかな声が聞こえ、お母さんが手作りのオヤツを作って子供たちの帰りを待っている・・・ドラマに出てきそうな家庭が私の夢だった。でも、現実は大きくない家と小さい庭、仕事が終わると娘の帰りを待ちながらウトウトしてしまう私。娘が生まれてから十六年が経とうとしている。初めての高校受験も保護者の立場で経験した。何も分からなかった私がよくここまで出来たな！と思う。色々な壁にあたり一緒に悩んで、一緒に泣いて、一緒に笑ってきた。だから今があるのかもしれない。大きな家だけ、私にとっては心地よい場所なのかもしれない。

小学生の息子がサッカーを始めた。

毎日ボールを片手に笑っている息子を見ると「大きくなったな」と感じる。

あんなに小さかった息子が今はサッカーの試合が出来るようにまで成長した。土曜日や日曜日はお弁当を持って

サッカー観戦。保護者同士の井戸端会

議。また一つ私の楽しみが増えた。

何気なく送っている毎日がわたしにとつての幸せだと思ふ。優雅にコーヒーは飲めなくても、ゆっくり買い物が出来なくても、自分の時間が半分になっても・・・当たり前前の生活が私の幸せなのかもしれない。よく言えば「幸せ太り？」私の体は正直に表してくれているが・・・私の休日もあつという間に夜を迎えてしまった。

ボツリと一言

十一月となり、今年も残りわずかとなりました。この時期になると当苑では、インフルエンザの予防接種が行われます。

入苑者の方々も冬に向けて衣替えの時期になってきたのではと思います。ご自宅のタンスに眠っている冬物の衣類を持ってきてみてはいかがでしょう。衣服を通じて季節を感じて頂きたいと思ひます。

発行



医療法人 正和会

介護老人保健施設 ほのぼの苑

〒018-1401

秋田県潟上市昭和久保字街道下 92-1

電話 018-877-7115 FAX 018-877-7481

ホームページ

http://www.seiwakai-akita-no1.or.jp/

編集責任者 加藤 稔樹

発行責任者 小玉 敏央